

V.O.S

知って得するお得意様とのホットコミュニケーション誌

2011年6月30日



6月号

vol.59

発行：ストラパック株式会社 営業企画室

東日本大震災の被害状況 ● H 22 年度ストラパック梱包機技術認定制度終了 西日本San - San会役員会開催 ● インターパック2011・欧州包装産業視察旅行記 A - PACK2011 終了報告 ● 新製品トピックス ● 事業所移転のご案内

この度の東日本大震災で被災されました皆様に謹んでお見舞い申し上げます。
一日も早い復旧、復興を心よりお祈り申し上げます。

3月11日に発生した東日本大震災では、東北沿岸部を中心に多くのお取引様、主要販売店様に甚大な被害があった。
ストラパックの仙台支店、郡山営業所、関連会社では幸い人的被害はなかったが、建物、設備、備品、商品に多くの被害が出て、一時は営業継続不能な状況となった。ストラパック本社では急遽、西日本各地から集めた救援物資を持って現地入りした。仙台、多賀城、塩釜、石巻、気仙沼、陸前高田、大船渡、宮古と被災地域を訪問、当初はあ

まりのすさまじい壊滅的被害を目の当たりにし、又瓦礫に埋もれた水産型梱包機を見て「再起が危ぶまれる」のではないかとその印象を受けたがその後1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月毎に訪問する度に道路の開通、瓦礫撤去が進み、被災を受けた代理店様からは仮事務所での業務再開案をいただき、お客様からは「なんとしても秋のサンマ漁までに梱包機の修理を！」「早く工場を稼働したいから納期を早めて欲しい」、「在庫を置けないから必要なときに、必要な商品の納



津波に巻き込まれた半自動梱包機

東日本大震災の被害状況

品を迅速に…」等々の声が相次ぎ、被災地は確実に復旧、復興に向けて歩み始めている。当社でも被災を受けたお客様の声、要望にお応えすべく最優先に取り組んでいる。
関東では震災直後から実施された東京電力管内での計画停電により川崎工場(川崎市川崎区)からの梱包機の部品出荷が滞るなどの影響が出たものの計画停電終了後は通常出荷体制に戻っている。



当社(関連会社)及び販売店様(San - San会会員会社)の被災状況
● ストラパック(株)仙台支店(仙台市若林区)：建物、設備、備品が一部損傷して事業継続困難となり、二子口工業(株)仙台営業所に仮移転して3月14日業務再開。
● ストラパック(株)郡山営業所(福島県郡山市)：建物、備品が一部損傷して3月14日業務を再開したが、隣接のビル

倒壊不安があるため5月10日事務所を移転して業務再開(移転記事4面)



● 東北包装(株)(仙台市若林区)：一部建物の損傷や設備の損傷
● 二子口工業(株)仙台営業所(仙台市若林区)：一部建物の損傷や設備の損傷
● (株)コマツ(宮城県気仙沼市)：建物全壊 仮社屋で業務再開
● (株)チダシン(宮城県石巻市)：建物全壊 仮社屋で業務再開
● (株)高速(本社：仙台市宮城野区)：5営業所建物、全壊、半壊

がんばろう日本
がんばろう東北

**H22年度 ストラパック梱包機技術認定制度
108名の技術者を認定**

今年で3回目を迎える『ストラパック梱包機技術認定制度』は今年度の東日本大震災の影響で東北部会の開催中止を余儀なくされたが、その他の部会では予定どおり2月から3月に順次行われた。受験者数123名（レギュラー84名、マスター39名）に対して、合格者数108名（レギュラー78名、マスター30名）、合格率87.80%であった。

今年度は新たに実技試験が導入され、筆記と実技の両面から、より実践に即した知識と技能が求められる高度な内容となった。実技試験は制限時間内でのシーリング部の分解・組立やバンド幅変更に伴う調整を実機で行うもので、受験者は事前講習等で調整方法を学び試験に臨んだ。合格者に交付されるライセンスの有効期限は3年。今年度は初年度に受験・取得した技術認定者が満期を迎えることで初の更新試験が開催されるため、初受験者と更新受験者で例年より受験者数の増加が見込まれている。

各地区部会の開催詳細は以下のとおり。

北海道部会

平成23年度3月3日（木）、4日（金）
初日：午前10時～午後5時
2日目：午前10時～午後3時
初日は一般講習会を開催

今年度3回目を迎える『ストラパック梱包機技術認定制度』は今年度の東日本大震災の影響で東北部会の開催中止を余儀なくされたが、その他の部会では予定どおり2月から3月に順次行われた。受験者数123名（レギュラー84名、マスター39名）に対して、合格者数108名（レギュラー78名、マスター30名）、合格率87.80%であった。



東北部会
東日本大震災により開催中止

関東部会

平成23年度3月5日（土）
午前10時～午後3時
開催場所：ストラパック(株)東京支店
11社33名



中部部会

平成23年3月16日（水）
午前10時半～午後4時
開催場所：セラミックパークMINO1Fイベントホール
9社15名



近畿部会

平成23年3月12日（土）
午前10時～午後4時
開催場所：ストラパック(株)大阪支店
8社22名



中国部会
広島、岡山に分かれて開催

平成23年3月5日（土）
※2月5日（土）事前講習開催
午前10時～午後5時

九州部会

平成23年3月29日（火）
午前9時～午後2時
開催場所：福岡支店
7社11名



四国部会

平成23年3月12日（土）
午前9時半～午後4時半
開催場所：総合会館 アイレックス
6社14名



**平成22年度
レギュラー取得企業32社（順不同）**

フアクシム、株式会社スヤマ、丸三包材有限会社、株式会社鈴瀧、株式会社シライ、株式会社錦屋、株式会社なべしま、美濃包材株式会社

**平成22年度
マスター取得企業15社（順不同）**

株式会社フカサワ、中村産業株式会社、株式会社ナカムラコーポレーション、東ワラ商事株式会社、株式会社ヤマヤス、株式会社クオリス、釜谷紙業株式会社、甲賀高分子株式会社、株式会社ワタコン、ロジスパック株式会社、有限会社のむら、有限会社ミキエンジニアリング、株式会社大包、株式会社タニモト、関株式会社、株式会社山安、丸善清水株式会社、株式会社高橋商店、双葉株式会社、株式会社マルセイ、有限会社化成品商事、有限会社ベスト・セブン、長崎包装機店、ユニオンパーツ株式会社、株式会社

San-San会

H23年度西日本San-San会役員会開催

去る4月22日（金）岡山市内のホテルグランヴィア岡山において西日本San-San会役員会が開催された。会には役員6社6名と、当社社員8名の14名が出席し13時より開催場所：総合会館 アイレックス

大震災において東日本San-San会の会員企業3社に被害が出たことを報告したが、これをうけて役員会では3社に対する見舞金の拠出を決定した。午後3時、全ての議事を終え、鈴木副社長（株式会社鈴瀧・代表取締役）の閉会の挨拶で終了した。なお、東日本San-San会も同様に見舞金の拠出を行った。



3Fのバンケット、ルビーで行われた。会の冒頭挨拶に立った村田会長（福山双葉株）代表取締役（会長）は3月に発生した東日本大震災へのお見舞いを述べるとともに、一日も早い復興のため西日本全域から被災地への支援を呼びかけた。続いて特別会員の下島社長が挨拶を行ったあと、事務局より平成22年度梱包機技術認定制度の報告が行われた。また本年度のSan-San会総会は協議の結果10月の開催が決定した。予定どおり議事は進行し再度挨拶に立った下島社長はこのたびの東日本





インターパック2011 欧州包装産業視察旅行記



旅となりました。

震災と原発の影響から羽田発の英国航空が直前に成田発へ変更になりましたが、約12時間のフライトの後、目的地であるロンドンは快晴で湿度も低く爽やかな気候でした。マイナス8時間の時差があり遠くへ来た実感がありません。

最初の訪問先であるゴードリアン社は1937年創業、包装資材、機械を販売している当社が梱包機を製造販売し始めた頃からの代理店様でしたが現在は関連会社になって

います。見慣れた黄色い梱包機がずらりと並び倉庫内を熱心に見学しながらの説明では、英国国内での梱包機は台湾製がトップシェアで、欧州のハイスペック機、中国機の台頭など厳しい競争状況との事でした。地域密着型の営業を心がけ自社でメンテ・改造を行い、倉庫内ではレヨンバンドを製造しているなど、参加者にとっては日本的なスタイルが

5月12日から18日までの7日間、ドイツ、デュッセルドルフにて国際包装機械・資材・製菓機材展「インターパック2011」が盛大に開催されました。3年に一度開催されるこの展示会は、世界60カ国から約2,800社が出展し、ホール数19、来場者数約17万人とまさに世界最大規模となります。

インターパック開催に併せて当社が企画している「欧州包装産業視察旅行」も恒例ツアーになり、全国各地からご夫婦も合わせて15名の参加となりました。ゴールデンウィーク中の5月3日から15日の11泊13日の日程で、今回は後半に展示会視察を組み込み、前半は現地代理店様の視察や交流、仕入れメーカー様の視察を行い、世界の包装産業の潮流を探る目的を持った

ユーロスターにのってフランス経由で入国しました。列車で国境を越える事や出国時のセキュリティチェックの厳重さに驚き、通過がポンドからユーロに変わるなど「世界」を感じる瞬間でした。

ベルギーでは当社拠点のストラパックNV/SAを視察しました。台湾、中国など競合メーカーとの差別化を図るために、2003年現地に設立しました。欧州各代理店様へのデリバリー対応、納期短縮、通貨変動への対応、技術支援を行っています。担当者からの欧州全体の市況説明に皆熱心に聞き入り、欧州独特の包装に大変興味をもたれている様子でした。その後3時間ほどバスに揺られながら国境を越えましたが、シエンゲン協定により国境検査もなく、最終目的地であるドイツの大都市ケルンに入国しました。

ドイツではまず、世界各国に子会社を持つ業界の雄、サイクロップ社を訪問しました。来年で100周年を迎える大変歴史のある会社です。世界中でバンド、帯鉄、梱包機、各種包装機械を扱うスケールの大きさに一同驚かれています。特に目を引いたのは社内に太陽光発電設備やPETリサイクル設備があり、20年前からリサイクルバンドを製造しているとの事でまさに環境先進国ドイツを目の当たりにしました。

翌日はフランクフルト郊外のバング社を訪問しました。同社は1856年創業でダンボールを中心に各種資材、機械を販売しています。参加者としては通訳を交えながら熱心に見学をされていました。展示方法自体は日本国内の包装展と大差なく感じましたが、中国、台湾、韓国勢の出展数の多さや展示ブースの広さが特に目立ちました。また、インド系の方々が大勢ツアーを組んで見学されている光景も印象的で、まさに今後の包装業界の潮流を感じることが出来た大変貴重な体験でした。最後の晩餐会は当社現地スタッフも交え、日本食レストランでの久しぶりの和食に大いに盛り上がり、皆様さらに交流を深められました。帰国前日にロンドンへ空路移動し、翌朝成田に定刻通り到着しました。成田で解団式を行ったあと、参加者は無事に帰路につかれました。このご縁を大切にしたい今回の経験を今後役に立てていきたいと感じております。ご参加の皆様、現地スタッフの皆様ご苦勞様でした、また大変有難うございました。



（東京東支店・中村 彰）

旅も終盤となり9日目は紙緩衝材製造機でおなじみのオランダ、ランパック社への訪問となりました。既に日本国内でも数百台の実績があるヒット商品です。アジアは全体の売上げの10%程度ですが近年増加傾向で、エリック社長は日本を含めた今後のアジア市場の伸びにかなり期待されている様子でした。工場内では紙の加工ラインを見学、実際にパッキング方法のレクチャーを受け、落下試験を行い緩衝性能を体験しました。10、11日目はいよいよ目的のインターパック2011の見学となりました。皆様、当社ブースで最新梱包機を見学して頂いた後に、広いメッセ会場でお目当てのブースを探

A・PACK2011 OSAKA



一方、当ブースへの来場者からは特にランニングコストを意識した質問や、現在使用している緩衝材を紙緩衝材やエア緩衝材に変えることにより、どういった利点があるのかなどの具体的な質問が目立ち、当社にとっては非常に内容の濃い展示会となった。主な出展機は以下の通りである。

簡易型製封函機

『AS-1323』

『ダンボール箱づくり』から『ダンボール箱封函』まで1台で作業可能。内フラップ・外フラップとも自動で折り込むので作業性を高めた製品。（ただし、内フラップ後は手で折り込む）

紙製緩衝材製造機

『パドパックPPC5』

専用紙から緩衝材（パド）を製造する加工機。加工したパドを「底敷」「固定」「包む」「隙間詰め」することであらゆる緩衝目的を満たし、緩衝材の一本化ができるので管理コスト、保管スペースの縮小ができる。また、専用紙はヴァージンクラフト紙なので受け手側も大変処理しやすい緩衝材である。



PPC5

News
新製品
JK-5000



この度ストラパック(株)では『JK・5』にプールBOXを搭載した『JK・5000』を発売開始した。その処理能力は約37結束/分で、従来と比較して約40%スピードアップした。

従来の『JK・5』は結束完了後、都度バンドを送り出すことによって自動正転していたが、本機種はあらかじめプールBOXにバンドを溜めておき、結束完了後はプールBOXに溜まっているバンドを送り出し、自動正



アーチサイズ	幅 650mm×高 500mm	
機械寸法	全幅	921mm
	奥行	600mm
	全高	1,419mm
	テーブル高さ	810mm
機械質量	約 115kg	
梱包可能寸法	最小	幅 60mm×高 30mm
	最大	幅 620mm×高 480mm
梱包能力	1.6 秒/梱包	
使用バンド	15.5、12、9、(6、5) mm PP	
電源最大容量	単相 100V 50/60Hz 0.65kVA	
定価	オープン価格	

転しているため、リールを回転させながらバンドを送り出す時間を短縮させた機能を持っている。

それに加え、アーチサイズも W650mm×H400mm から W650mm×H500mm へ変更になったので、より大きな対象物も結束できるようになった。

また、従来機と同じくバンドが抜けても再び送りして復帰する「再送り機能」や、品物のない状態でバンドをかけても接着しないので、機械に巻きつき、トラブルの原因を回避する「空打ち防止機能」も採用している。



事業所移転のお知らせ
郡山営業所

弊社郡山営業所は、この度の東日本震災の影響で社屋の一部損傷と隣家に倒壊の恐れがあったため、事務所を移転し5月10日(火)より新事務所にて業務を開始しました。これを機会により一層のサービス向上に努めてまいりますので倍旧のお引き立てを賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

住所 〒963-8052
福島県郡山市八山田4-125
TEL:024-938-7210
FAX:024-932-2977
※TEL/FAXは変更ありません
業務開始日 平成23年5月10日(火)



事業所移転のお知らせ
東京西支店

弊社東京西支店は7月4日(月)より神奈川県内に事務所を移転し業務を行うことになりました。

西東京、ならびに神奈川県全域への更なる販売強化とより地域に密着した営業活動を行うのに適したロケーションです。今後より一層のサービス向上に努めてまいりますので倍旧のお引き立てを賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

住所 〒221-0864
横浜市神奈川区菅田町2800番地
TEL:045-475-7260
FAX:045-475-2260
業務開始日 平成23年7月4日(月)

※当社仙台支店は、東日本大震災により事業継続が困難となったため、ニチロ工業・仙台営業所に一時仮移転をして業務を行っています。



産業機器総合カタログ
VOL.8 発行

ストラパックの主要取扱品を網羅した「産業機器総合カタログ」の最新版VOL.8が2011年3月31日に発売されました。梱包機、製封函機、結束機、システムラインといった主要ラインナップに加えて「緩衝材」セクションを新設。近年、包装形態に応じて多様化し続ける「緩衝材」を単独セクションとしたことで、前版まで環境機器と資材に分散掲載されていた内容を一本化して分かりやすく紹介しています。またメインの梱包機は「RQ7000」をはじめとした最新機種だけでなく特注仕様機も大幅に増ページし、より一層の内容充実を図りました。

その他包装・物流現場を総合的に支える商品群をバリエーション豊かに掲載しています。産業機器総合カタログをご希望のお客様は最寄りの営業拠点、または営業企画室までご連絡をお願いいたします。

ストラパック(株)営業企画室
TEL:03-3965-5211
FAX:03-3965-4913

- ストラパック事業所一覧**
- 本社 〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-14 銀座イーストビル5F tel.03-6278-1801 fax.03-6278-1800
 - 海外営業本部 〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-14 銀座イーストビル5F tel.03-6278-1805 fax.03-6278-1806
 - S E 部 〒115-0051 東京都北区浮間 3-14-4 tel.03-3965-6421 fax.03-3965-5866
 - 外装機材課 〒210-0824 川崎市川崎区日ノ出 2-1-19 tel.044-299-2454 fax.044-299-2473
 - 環境資材部 〒115-0051 東京都北区浮間 3-14-4 tel.03-5916-0678 fax.03-5916-0677
 - 営業企画室 〒115-0051 東京都北区浮間 3-14-4 tel.03-3965-5211 fax.03-3965-4913
 - 札幌支店 〒060-0041 札幌市中央区大通東 9-1 みきビル tel.011-241-6335 fax.011-222-3728
 - 旭川営業所 〒078-8220 北海道旭川市十条通 22-1-12 tel.0166-34-9597 fax.0166-34-9534
 - 仙台支店 〒984-0001 仙台市若林区鶴代町 2-15 tel.022-232-7459 fax.022-231-0779
 - 酒田 SSP 〒998-0864 山形県酒田市新橋 5-12-20 tel.023-423-3512 fax.023-423-3583
 - 青森 SSP 〒038-0004 青森県青森市富田 2-27-12 tel.017-766-7991 fax.017-781-7519
 - 郡山営業所 〒963-8052 福島県郡山市八山田 4-125 tel.024-938-7210 fax.024-932-2977
 - 東京支店 〒115-0051 東京都北区浮間 3-14-4 tel.03-3965-6181 fax.03-3558-0240
 - 東京東支店 〒279-0002 千葉県浦安市北栄 3-34-19 tel.047-353-6868 fax.047-353-6880
 - 東京西支店 〒221-0864 横浜市神奈川区菅田町 2800 tel.045-475-7260 fax.045-475-2260
 - 甲府 SSP 〒400-0857 山梨県甲府市幸町 13-21 tel.055-232-6405 fax.055-232-6404
 - 高崎支店 〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町 113-1 tel.027-370-2181 fax.027-370-2026
 - 名古屋支店 〒463-0032 名古屋市守山区白山 1-1003 tel.052-769-0251 fax.052-769-0261
 - 北陸 SSP 〒923-0851 石川県小松市浅井町舟津 77 tel.0761-21-1392 fax.0761-21-1392
 - 静岡営業所 〒425-0084 静岡県焼津市三ヶ名 382-1 tel.054-628-1315 fax.054-628-2025
 - 大阪支店 〒555-0001 大阪市西淀川区佃 5-5-2 tel.06-6473-7241 fax.06-6473-7236
 - 岡山営業所 〒700-0975 岡山市北区今 8-13-17 tel.086-244-4112 fax.086-243-3470
 - 高松支店 〒762-0024 香川県坂出市府中町 5573-6 tel.0877-48-2114 fax.0877-48-2142
 - 広島支店 〒734-0023 広島市南区東雲本町 2-10-28 tel.082-282-3011 fax.082-283-9210
 - 福岡支店 〒818-0131 福岡県太宰府市水城 3-12-34 tel.092-921-3400 fax.092-925-2332
 - 鹿児島営業所 〒891-0113 鹿児島県鹿児島市東谷山 5-4-1 tel.099-267-5666 fax.099-266-1205
 - 沖縄 SSP 〒901-2126 沖縄県浦添市宮城 3-10-1SK ニューコーポ B102 tel.098-879-4515 fax.098-879-4515
 - 川崎工場 〒210-0824 川崎市川崎区日ノ出 2-1-19 tel.044-299-2451 fax.044-277-4958
 - 筑波工場 〒315-0125 茨城県石岡市山崎 1028-2 tel.0299-46-4551 fax.0299-46-4553
 - STRAPACK, INC. (USA)
HEAD OFFICE...30860 SAN CLEMENTE ST, HAYWARD CA, 94544 U.S.A.
tel.1-510-475-6000 fax.1-510-475-6090
FACTORY...1601 EAST VOORHEES, DANVILLE, IL61832 U.S.A. tel.1-217-431-4000 fax.1-217-431-4041
 - STRAPACK (THAILAND) CORP., LTD...139/11-12, MOO17, BANGSAOTHONG
AMPHUR BANGSAOTHONG, SAMUTPRAKARN, 10540 THAILAND
tel.66-2-315-1489 fax.66-2-705-0989
 - GORDIAN STRAPPING LTD...GORDIAN HOUSE, BRUNEL RD., BASINGSTOKE, HAMPSHIRE
RG21 6XX U.K. tel.44-1256-840102 fax.44-1256-840190
 - STRAPACK, NV/SA
Uilenbaan 200 2160 Wommelgem BELGIUM
tel.32-3-355-1520 fax.32-3-355-1521
 - 斯托派克包装机械(上海)有限公司
上海市嘉定区馬陸鎮豐隴路 358 号
tel.86-21-6915-4558 fax.86-21-6915-4668